

あかるい家庭

■一般財団法人簡易保険加入者協会の業務概要（平成 25 年度事業計画）▶ 2

■災害見舞事業の認可特定保険業への移行▶ 3

■決算及び予算の概要▶ 4

■一般公益事業トピックス▶ 5

協会の調査研究事業

■災害見舞事業トピックス▶ 5

平成 24 年度事故別災害見舞金贈呈状況

平成 24 年度都道府県別災害見舞制度加入状況

■かんぽトピックス▶ 6

かんぽ生命及び簡易生命保険の契約状況

(株) かんぽ生命ディスクロージャー誌発行

■ラジオ体操・みんなの体操の普及推進事業トピックス▶ 7

第 52 回 1000 万人ラジオ体操・みんなの体操祭を開催

ラジオ体操・みんなの体操の講習会の開催

NPO 法人全国ラジオ体操連盟公認指導者の認定試験スケジュール

第 206 号



一般財団法人簡易保険加入者協会の業務概要(平成 25 年度事業計画)

平成 25 年 4 月 1 日、一般財団法人へ移行すると同時に、災害見舞事業を認可特定保険業として継承し新たなスタートを切ることとなりました。

当協会は、これまでの実績を糧とし、引き続き、簡易保険加入者のための簡便で低廉な相互救済サービスを提供していくとともに、ラジオ体操・みんなの体操の普及活動等を併せて行うことにより、簡易保険加入者及び地域住民の福祉増進に寄与していきます。

一般公益事業

加入者の会の事務処理としての機関誌「あかるい家庭」の発行等や、ラジオ体操・みんなの体操の普及推進及び生命保険に関する調査・研究並びに研究助成を実施しつつ、新たな公益目的事業の検討等を進めていくこととしています。

災害見舞事業

簡易保険加入者の会の構成員の皆さまの相互救済制度として約 50 年。その災害見舞制度が平成 25 年 4 月から、大きく変貌しました。

簡易保険加入者の会において、平成 25 年 4 月から、構成員の対象が「簡易生命保険の加入者」から「簡易生命保険・(株)かんぼ生命保険の保険加入者」に改められたことから、簡易生命保険の加入者に加え、(株)かんぼ生命保険の保険加入者の皆さまもご加入いただけることになりましたので、災害見舞制度の一層の普及を図っていきます。

また、特定保険業の認可に併せて、制度改正についても、加入資格者の拡大に加えて、加入限度口数の増口が平成 25 年 4 月から認められたことから、寄金未加入者に対する新規勧奨の訪問活動を行うとともに、見舞契約の継続をされる加入者に対する増口勧奨のための活動を積極的に推進していくこととしています。

もとより、災害見舞事業の業務の適切性の確保に不断から努め、災害見舞制度の利点を生かして、加入者の皆さまに、大きな安心をお届けできるよう、なお一層努力していくこととしています。

重要課題への取組み

コンプライアンスは引き続き当協会の最重要課題として位置づけ、認可特定保険業の初年度として保険契約者保護の観点から、より一層その徹底に取り組んで行くこととしています。

1 コンプライアンスの徹底

ア コンプライアンス推進態勢の強化

イ コンプライアンスの実践

(ア) 基本動作、防犯指導の徹底

(イ) コンプライアンス教育、研修の充実

2 内部監査の充実

(1) 認可特定保険業としてのリスクの種類・程度に応じて、効率的かつ実効性のある内部監査を実施

(2) 内部監査は、被監査部から制約を受けることのない監査部が実施し、内部監査の結果は理事長及び経営会議に報告

災害見舞事業の認可特定保険業への移行

当協会は平成 25 年 4 月 1 日付で一般財団法人となり認可特定保険業者に移行しました。

多くの制度や取扱内容は従来と全く変わりませんが、今まで以上にご利用いただきやすいものとするため、以下につきましては一部改正を実施しました。

1 災害見舞制度は認可特定保険業に継承されました。

移行後の制度は用語の一部変更等がありますが、従来のものと大きく変わりませんのでご安心ください。

また、1 口あたりの寄金額も変わりません。

2 加入できる方の範囲が拡大されました。

(1) 簡易生命保険加入者の方に加えて、かんぽ生命保険加入者の方も加入できます。

(2) 平成 25 年 4 月 1 日より簡易保険加入者の会の名称が、地域単位から都道府県単位で組織された団体名に変わりました。

3 加入口数の限度が引き上げられました。

加入口数が次のとおり引き上げられましたので、より大きな補償が得られます。

■ 自家は木造 90 口、鉄筋 60 口までご加入いただけます。

■ 自家の場合は家屋と家財が、借家の場合は家財のみが加入対象です。

■ 家財の一人あたりの加入口数の限度は、木造 10 口、鉄筋 7 口となりました。

■ 離島 1、離島 2 の区分は廃止され一般と同じになりました。

また、間借は借家に統合されました。

4 リフォームされた場合など見舞期間の途中でも増口することができます。

リフォームや転居などで加入口数の変更をご希望の場合は、いつでも手続きができます。

また、万が一ご自宅を売却されたときなどには解約ができます。

5 異なる特定疾患についても見舞金を支払います。

過去にお支払いした特定疾患と異なる特定疾患についても、一定の条件に該当する場合は見舞金を支払います。

決算及び予算の概要

○ 実施事業等会計（ラジオ体操事業、その他の事業）

（単位：百万円）

年度	損益	収 益	費 用	当期正味財産 差引増減額	期末正味財産 残高
平成 23 年度 (決算)		134	134	0	694
平成 24 年度 (決算)		137	667	△ 530	164
平成 25 年度 (予算)		174	174	0	164

○ その他会計（見舞事業）

（単位：百万円）

年度	損益	収 益 (主な収益)	費 用 (主な費用)	当期正味財産 差引増減額	期末正味財産 残高
平成 23 年度 (決算)		19,432 (8,652 寄金収益)	19,365 (11,303 支払見舞金)	67	1,772
平成 24 年度 (決算)		13,395 (9,413 寄金収益)	10,395 (3,478 支払見舞金)	3,000	4,772
平成 25 年度 (予算)		15,581 (9,746 寄金収益)	15,935 (2,900 支払見舞金)	△ 354	5,142

○ 法人会計

（単位：百万円）

年度	損益	収 益	費 用	当期正味財産 差引増減額	期末正味財産 残高
平成 23 年度 (決算)		261	213	48	1,575
平成 24 年度 (決算)		777	198	579	2,154
平成 25 年度 (予算)		281	431	△ 151	1,961

- (注) 1 平成 23 年度は、公益会計基準（平成 20 年基準）の適用初年度である。
 2 その他会計の平成 23 年度寄金収益は、寄金受領時から寄金約定期間開始時に収益を計上する方法に変更したため、753 百万円減少している。
 また、その他会計の支払見舞金には、東日本大震災による贈呈見舞金が含まれている。
 3 百万円未満は数整理のため、集計額が一致しないことがある。

一般公益事業トピックス

協会の調査研究事業

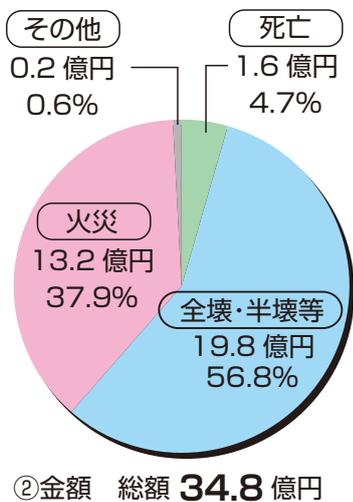
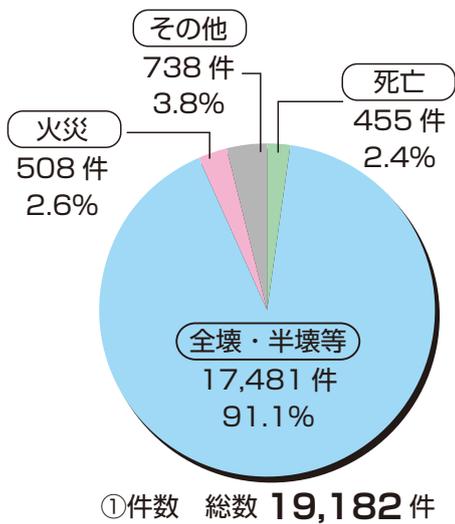
当協会が公益事業として実施した過去6年間の調査研究は、次のとおりです。

- ・平成19年度：「保険業界のコンプライアンスの取組みに関する調査・研究」
- ・平成20年度：「保険業界の社会貢献活動に関する調査」
- ・平成21年度：「保険業界における企業理念の実態調査」
- ・平成22年度：「保険業界におけるダイバーシティ推進状況に関する調査研究」
- ・平成23年度は東日本大震災への対応等のため未実施。
- ・平成24年度：「個人向け火災保険・共済における建物・家財の評価に関する調査研究」

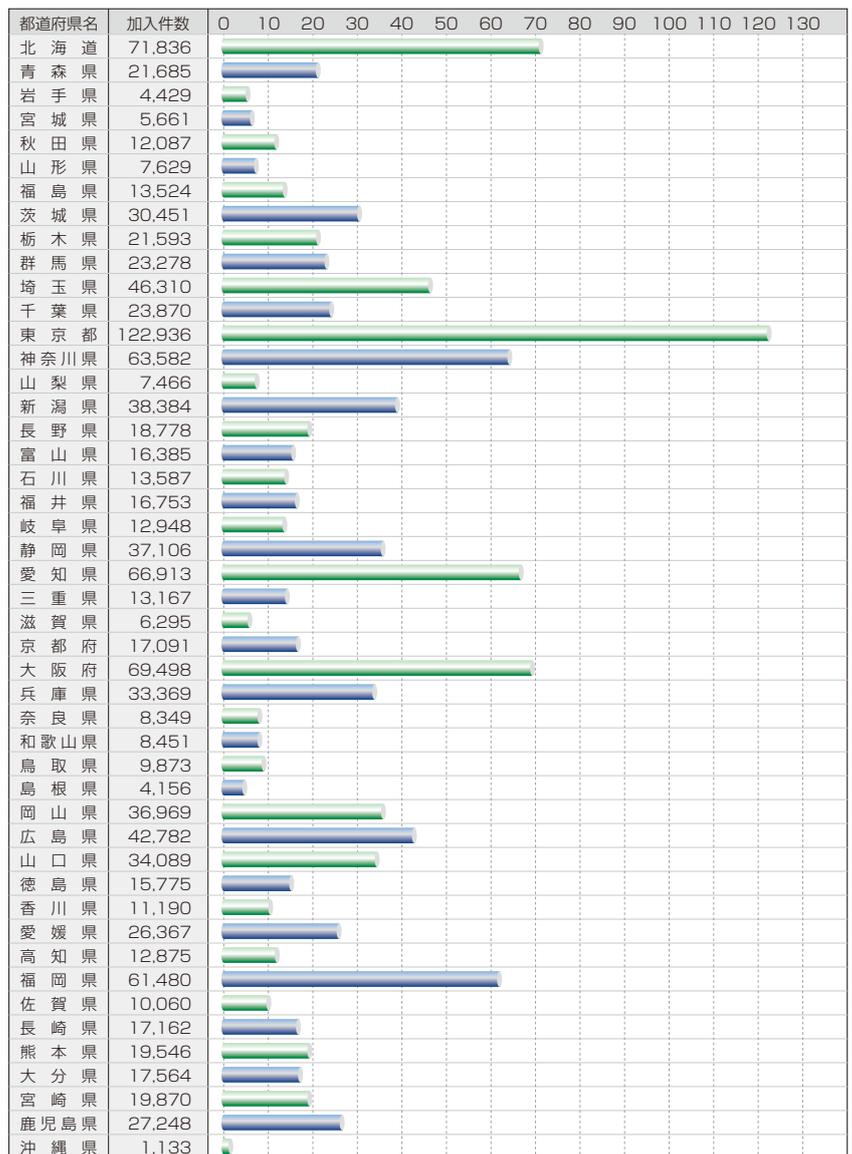
※調査報告書は、広く一般に供覧していますので、当協会のホームページ (<http://www.fpp.or.jp/>) をご覧ください。

災害見舞事業トピックス

● 平成24年度事故別災害見舞金贈呈状況



● 平成24年度都道府県別災害見舞制度加入状況



	加入件数
合計	1,221,550

かんぽトピックス

かんぽ生命及び簡易生命保険の契約状況

平成24年度の「かんぽ生命」の「個人保険」の件数は、前年度よりも新契約及び保有契約件数とも増加したが、「簡易生命保険」の「個人保険」の件数は、前年度よりも13.2%減少。

○平成24年度末のかんぽ生命の新契約・保有契約件数（単位：件、%）

	新契約件数			保有契約件数		
	平成24年度	平成23年度	前年比	平成24年度末	平成23年度末	前年比
個人保険	2,207,801	2,123,253	104.0	9,871,863	8,018,950	123.1
普通終身	310,652	296,218	104.9	1,407,956	1,158,623	121.5
特別終身	239,282	203,428	117.6	817,996	600,042	136.3
普通定期	623	760	82.0	3,166	2,964	106.8
普通養老	952,853	911,498	104.5	4,207,555	3,402,705	123.7
特別養老	470,661	469,639	100.2	2,167,451	1,784,809	121.4
特定養老	14,524	20,214	71.9	88,349	77,595	113.9
学資保険	219,206	221,496	99.0	1,178,707	991,464	118.9
上記以外	-	-	-	683	748	91.3
年金保険	181,965	210,226	86.6	1,058,046	887,329	119.2

○平成24年度末の簡易生命保険の保有契約件数（単位：件、%）

	保有契約件数				
	平成24年度末 ①	平成23年度末 ②	前年比 ①/②	平成19年9月末 (保険者：日本郵政公社(当時))③	平成19年比 ①/③
個人保険	26,933,955	31,015,777	86.8	55,179,692	48.8
普通終身	4,619,698	4,842,037	95.4	6,037,550	76.5
特別終身	5,254,173	5,467,638	96.1	6,577,000	79.9
普通定期	2,741	3,961	69.2	12,607	21.7
普通養老	6,216,846	7,842,037	79.3	19,264,113	32.3
特別養老	5,130,669	6,300,304	81.4	11,324,192	45.3
特定養老	82,579	102,585	80.5	173,112	47.7
学資保険	4,744,413	5,408,877	87.7	8,869,136	53.5
上記以外	882,836	1,048,338	84.2	2,921,982	30.2
年金保険	3,877,530	4,393,202	88.3	6,562,824	59.1



(株)かんぽ生命ディスクロージャー誌発行

(株)かんぽ生命保険において、「かんぽ生命の現状 2013」のディスクロージャー誌が発行されました。

内容は、①かんぽ生命について②事業の概況・業績③保険会社の運営④商品・サービスの紹介⑤会社情報⑥業績データなどです。

これらにつきましては、郵便局又はかんぽ生命支店の窓口で、閲覧できます。

また、インターネットでも閲覧できます。

→ http://www.jp-life.japanpost.jp/aboutus/disclosure/abt_dsc_index.html



ラジオ体操・みんなの体操の普及推進事業トピックス

第52回 1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭を開催

平成25年7月28日(日)秋田市八橋運動公園陸上競技場を会場に、「第52回 1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」が開催されました。

当日は天候に恵まれ、朝日の中、さわやかな空気を胸一杯に吸いながら、参加者は日頃の体操の成果を存分に発揮され、大会は大いに熱気を帯び、素晴らしい盛り上がりとなりました。

会場には、秋田市民のみなさん、秋田県内からのみなさんをはじめ、全国各地のラジオ体操連盟のみなさん、ラジオ体操愛好者のみなさんなど、約4500名を越える方々が参加しました。

1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭は、全国の家庭あるいは地域で、1000万人にも及ぶ人々にラジオ体操を行ってもらうという趣旨で、昭和37年(1962

年)から実施されています。

体操祭の様子は、午前6時半からNHK総合テレビ及びラジオ第一放送で全国に、さらにラジオ日本で海外まで実況中継されました。



ラジオ体操・みんなの体操の講習会の開催

昨年からのラジオ体操ブームにより、多くの方がラジオ体操を行うようになりました。そんな中、一般財団法人簡易保険加入者協会ではラジオ体操による健康で明るい街づくり(健康タウン構想)を目指し、自治体と連携して「ラジオ体操・みんなの体操講習会」を各地で開催しています。

講師はNHKテレビ・ラジオ体操指導者で、正しいラジオ体操の普及を行っています。

参加者からは「楽しかった」「目からウロコでした。」との声も聴かれ、大変好評をいただいています。今年

度は現在まで20数か所の自治体で開催し皆様の健康増進、コミュニケーションの醸成などに役立っています。



NPO法人全国ラジオ体操連盟公認指導者の認定試験スケジュール

ラジオ体操・みんなの体操の着実な普及推進を図るため、NPO法人全国ラジオ体操連盟では「NPO法人全国ラジオ体操連盟公認指導者資格試験」を下記の日程、試験会場で行います。

会場	試験日	会場	場所
横浜	平成25年9月29日	横浜国際プール	横浜市都築区北山田7-3-1
釧路	平成25年10月6日	湿原の風アリーナ釧路	釧路市広里18
妙高	平成25年10月20日	妙高市総合体育館	妙高市白山町4-1-31
宇多津	平成25年10月20日	ホテルサンルート瀬戸大橋	宇多津町六番丁81-1
金沢	平成25年10月27日	金沢勤労者プラザ	金沢市北安江3-2-20
熊本	平成25年10月27日	ホテル熊本テルサ	熊本市中央区水前寺公園28-51
静岡	平成25年11月3日	静岡県立大学短期大学部	静岡市駿河区小鹿2-2-1
仙台	平成25年11月10日	新田東総合運動場宮城野体育館	仙台市宮城野区新田東4-1-1
大阪	平成25年11月10日	大阪市中央体育館	大阪市港区田中3-1-40
松江	平成25年11月17日	島根県職員会館	松江市内中原町52
那覇	平成25年11月17日	かんぼの宿那覇レクセンター	那覇市港町2-9-15
東京	平成25年12月1日	両国中学校	墨田区横綱1-8-1

かんぽの宿一覧

北陸	
富山	076-469-3135
山代	0761-77-1600
白山尾口	076-256-8080
福井	0776-36-5793

東海	
熱海(本・別館)	0557-83-6111
伊豆高原	0557-51-4400
修善寺	0558-72-3151
焼津	054-627-0661
浜名湖三ヶ日	053-526-1201
三ヶ根	0563-62-2650
知多美浜	0569-87-1511
恵那	0573-26-4600
岐阜羽島	058-398-2631
鳥羽	0599-25-4101
熊野	0597-89-4411

中国・四国	
皆生	0859-33-4421
美作湯郷	0868-72-5551
庄原	0824-73-1800
竹原	0846-29-0141
光	0833-78-1515
湯田	083-922-5226
坂出	0877-47-0531
観音寺	0875-27-6161
徳島	088-625-1255
道後	089-977-0460
伊野	088-892-1580

北海道	
小樽	0134-54-8511
十勝川	0155-46-2141

東北	
一関	0191-29-2131
横手	0182-32-5055
酒田	0234-31-4126
郡山	024-984-3511
いわき	0246-39-2670

関東・甲信越	
大洗	029-267-3191
潮来	0299-67-5611
旭	0479-63-2161
勝浦	0470-76-3011
鴨川	04-7092-1231
塩原	0287-32-2845
栃木喜連川温泉	028-686-2822
草津	0279-88-5761
磯部	027-385-6321
寄居	048-581-1165
青梅	0428-23-1171
箱根	0460-84-9126
石和	055-262-3755
諏訪	0266-52-1551

九州・沖縄	
北九州	093-741-1335
柳川	0944-72-6295
宇佐	0978-37-2288
別府	0977-66-1271
日田	0973-24-0811
山鹿	0968-43-5121
阿蘇	0967-22-1122
日南	0987-22-5171
那覇レクセンター	098-862-4740

近畿	
彦根	0749-22-8090
富田林	0721-33-0700
大和平群	0745-45-0351
奈良	0742-33-2351
紀伊田辺	0739-24-2900
白浜	0739-42-2980
有馬	078-904-0951
赤穂	0791-43-7501
淡路島	0799-82-1073

簡易保険加入者の会機関誌 あかるい家庭 第206号 発行日：平成25年8月30日

発行所：一般財団法人簡易保険加入者協会
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-14-1 郵政福祉琴平ビル5F TEL：03-3502-4700 <http://www.fpp.or.jp/>

「あかるい家庭」について

一般財団法人簡易保険加入者協会では、昭和35年に設立されて以来、簡易保険加入者の会の事務を行って来ていますが、その一環として「加入者の会」の機関誌である「あかるい家庭」を発行して来ています。

この「あかるい家庭」では、文字どおり「明るい家庭」建設の一助にしたい、さらには安心社会の実現に寄与したいという思いで、簡易生命保険・(株)かんぽ生命保険加入者向けの情報を提供しています。

一般財団法人簡易保険加入者協会の主力事業としても、簡易保険加入者の会の会員の相互救済事業として災害見舞事業を行っており、簡易生命保険・(株)かんぽ生命保険加入者に一人でも多く加入して頂くよう活動を続けています。

詳しくは、当協会のホームページをご覧ください。